

[年度]平成20年度和歌山県農林水産総合技術センター研究成果情報

[成果情報名]「ゆら早生」より早熟な極早生温州ミカン「YN26」

[要約]「YN26」は、「ゆら早生」の珠心胚実生から育成した極早生温州ミカンの新系統である。育成地での特性は、「ゆら早生」より収穫時期が10日程度早く、糖度は「ゆら早生」よりやや高い。

[キーワード]極早生温州ミカン、ゆら早生、珠心胚実生、果実品質

[担当機関名]果樹試験場・栽培部

[連絡先]0737-52-4320

[部会名]果樹

[分類]指導

[背景・ねらい]

「ゆら早生」は、糖度が高く、食味の良い極早生温州ミカンとして注目され、植栽が進んできた。しかし、減酸の遅れる場合があるので、さらに減酸が早く、早期に出荷でき、「ゆら早生」の優れた果実特性を受け継いだ極早生温州ミカンの育成を行う。

[成果の内容・特徴]

1. 「YN26」は、2001年に種子親「ゆら早生」に花粉親「紅まどか」を交配させて得た珠心胚実生で、2008年に最終選抜した個体で、「ゆら早生」より早熟性である。
2. 「YN26」の9月下旬でのクエン酸含有率は0.73～1.08%で、対照品種「ゆら早生」の1.28～1.63%に比べて低く、収穫時期が10日程度早い(表1)。
3. 9月下旬での糖度は、2006～2008年のいずれの年も「ゆら早生」より高い(表1)。果実の大きさは、「ゆら早生」と同等かやや小さく、やや扁平な形である(表1)。
4. 「日南1号」や「宮本早生」と比較すると、果実がやや小さく、腰高で、果皮がやや厚い(表2)。糖度は高く、クエン酸含量は低い(表3)。葉の大きさは「ゆら早生」よりは大きいものの、「日南1号」よりは小さい(表4)。

[成果の活用面・留意点]

1. 現在、品種登録申請中である。
2. 減酸が早く酸高になる恐れが少ない系統である。
3. 「ゆら早生」より早期出荷が可能な極早生温州ミカンとして有望であり、「ゆら早生」とのリレー出荷が可能と考えられる。
4. 年によって、果実が小玉になる場合があるため、早期摘果により果実肥大促進を図るなど、「ゆら早生」同様の栽培技術を適用する必要がある。

[具体的データ]

表1 極早生温州ミカン「YN26」の果実品質

調査日 年/月/日		横径 mm	果実重 g	着色 分	糖度 Brix	クエン酸 %
2006.9.25	YN26	53.1	63.9	-	11.6	1.08
	ゆら早生	57.7	85.3	-	9.4	1.59
2007.9.25	YN26	57.0	75.9	-	13.7	0.91
	ゆら早生	58.8	87.7	-	11.4	1.63
2008.9.24	YN26	63.9	106.3	0.8	11.0	0.73
	ゆら早生	61.6	100.3	0.5	10.5	1.28

注) 供試果実数各2果

表2 「YN26」と主な極早生温州ミカン果実の大きさ、厚さ

	横径 mm	縦径 mm	果形指数	果皮の厚さ mm
YN26	62.2	50.5	123.2	2.9
ゆら早生	61.2	52.3	117.0	2.2
日南1号	62.9	49.0	128.4	2.4
宮本早生	64.9	49.5	131.1	2.3

注) 特性調査のデータより(調査日:2008.9.26)

注) 供試果実数各10果

注) 果形指数(横径/縦径×100)

表3 「YN26」と主な極早生温州ミカンの果実品質

	果実重 g	果肉歩合 %	糖度 Brix	クエン酸 %	糖酸比
YN26	98.5	76.0	11.4	0.86	13.3
ゆら早生	99.3	79.6	11.0	1.33	8.3
日南1号	98.5	79.2	9.9	1.23	8.0
宮本早生	109.9	79.7	8.3	1.17	7.1

注) 特性調査のデータより(調査日:2008.9.26)

注) 供試果実数各10果

注) 糖酸比(糖度計示度/クエン酸含量)

表4 「YN26」と主な極早生温州ミカン葉(春葉)の大きさ

	葉身長 cm	葉身幅 cm	葉面積 cm ²	葉形指数
YN26	7.8	4.2	20.4	1.9
ゆら早生	7.4	3.6	17.6	2.0
日南1号	14.2	2.6	38.8	5.6
宮本早生	7.5	3.7	17.6	2.1

注) 特性調査のデータより(調査日:2008.9.26)

注) 供試葉(春葉)数各10葉

注) 葉形指数(葉身長÷葉身幅)

[その他]

研究課題名: 新品種育成試験

予算区分: 県単

研究期間: 2001年~

研究担当者: 中地克之、森口幸宣、萩平淳也、藤本欣司

発表論文等: なし